



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 サカイオーベックス株式会社
 コード番号 3408 URL <http://www.sakaiovox.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松木伸太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 室坂浩一
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 0776-36-5800

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	12,483	△1.1	890	20.3	1,507	14.6	1,023	6.0
29年3月期第2四半期	12,618	△0.2	740	3.0	1,314	△7.0	965	△2.3

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 1,431百万円 (303.7%) 29年3月期第2四半期 354百万円 (△44.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	163.71	162.73
29年3月期第2四半期	151.91	151.35

※平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	28,297	17,686	62.1
29年3月期	26,713	16,594	61.8

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 17,575百万円 29年3月期 16,504百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	2.5	1,900	23.0	2,650	10.3	1,850	△12.9	296.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	6,636,258 株	29年3月期	6,636,258 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	416,061 株	29年3月期	374,397 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	6,250,095 株	29年3月期2Q	6,353,872 株
----------	-------------	----------	-------------

※平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しています。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費や設備投資が持ち直しの動きをみせるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、米国政権の政策運営や地政学的リスクの高まりなど海外情勢の不確実性により、先行きは不透明な状況が続きました。

このような経営環境の中、当社グループの当第2四半期の業況は、主力の染色加工事業は増収となりましたが、繊維販売事業等が減収となったことにより、グループ全体では減収となりました。利益面では、原燃料価格や物流費等が上昇傾向にありましたが、生産性の向上やロス削減等に積極的に取り組んだことから営業利益が増益となりました。経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、持分法による投資利益が増加したことにより増益となりました。

当第2四半期の当社グループの売上高は12,483百万円と前年同期比135百万円(△1.1%)の減収となり、営業利益は890百万円と前年同期比149百万円(20.3%)の増益、経常利益は1,507百万円と前年同期比192百万円(14.6%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,023百万円と前年同期比58百万円(6.0%)の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較していません。

(染色加工事業)

当事業では、主力のユニフォーム用途の他、自動車関連資材用途等が堅調に推移し、増収となりました。利益面では、原燃料価格等が上昇傾向にあったものの、グループ連携による機動的な生産対応や生産ロスの削減等に積極的に取り組んだことにより収益力が向上し、増益となりました。

当事業の売上高は6,297百万円と前年同期比149百万円(2.4%)の増収となり、営業利益は459百万円と前年同期比129百万円(39.4%)の増益となりました。

(繊維販売事業)

テキスタイル事業は、主力のユニフォーム用途が堅調に推移しました。アパレル事業は、OEM事業の再構築に取り組むとともに、ODM事業の強化に向け、商品開発や顧客開拓に注力しました。酒伊貿易(上海)有限公司は、主力であるアセアン地域を活用した事業が伸び悩みました。

当事業の売上高は3,613百万円と前年同期比230百万円(△6.0%)の減収となりましたが、営業利益は242百万円と前年同期比54百万円(29.3%)の増益となりました。

(制御機器事業)

主力の制御装置関連は、自動車プレス機関連や産業プラント向けのFA関連で海外向けの案件が伸び悩みました。電力工事関連は、発電所、変電所向けで大型の更新需要があったものの、足元の中小規模の案件が減少したことにより、売上が伸び悩みました。情報システム関連は、FA系監視システムの開発やハードウェア更新等の案件が堅調に推移しましたが、生産管理系のシステム開発案件が低調でした。

当事業の売上高は745百万円と前年同期比199百万円(△21.1%)の減収となり、営業利益は103百万円と前年同期比36百万円(△26.3%)の減益となりました。

(その他の事業)

織布事業は、衣料、インナー等の各用途向けが低調に推移しました。水産資材事業は、主力である中層浮魚礁の拡販に注力しました。建設不動産事業は、民間分野の工事案件や一般住宅案件が堅調に推移しました。複合部材事業は、主力のモータースポーツ用途が堅調に推移しました。また、更なる事業拡大に向け、新規の用途開発や顧客開拓に注力しました。縫製事業は、主力である百貨店系アパレル向けの商品販売が伸び悩む中、顧客開拓・提案型営業の推進に努めました。

その他の事業の売上高は1,825百万円と前年同期比144百万円(8.6%)の増収となり、営業利益は87百万円と前年同期比9百万円(11.6%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,584百万円増加して28,297百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の増加などにより457百万円増加して13,274百万円となり、固定資産は、投資その他の資産の増加などにより1,126百万円増加して15,022百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ492百万円増加して10,611百万円となりました。流動負債は、381百万円増加して7,093百万円となり、固定負債は、111百万円増加して3,517百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,091百万円増加して17,686百万円となりました。これは、株主資本が662百万円増加し、その他の包括利益累計額が407百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の61.8%から62.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は4,321百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は876百万円の収入(前年同期は455百万円の収入)となりました。税金等調整前四半期純利益1,480百万円や減価償却費271百万円がある一方で、持分法による投資利益581百万円や法人税等の支払451百万円によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は202百万円の支出(前年同期は204百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出209百万円によるものです。

「財政活動によるキャッシュ・フロー」は601百万円の支出(前年同期は490百万円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額279百万円や借入金の圧縮228百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,381,555	4,452,076
受取手形及び売掛金	4,305,075	4,519,851
電子記録債権	1,349,382	1,322,907
商品及び製品	1,264,920	1,143,684
仕掛品	509,386	637,064
原材料及び貯蔵品	395,417	394,458
その他	650,457	826,058
貸倒引当金	△39,096	△21,399
流動資産合計	12,817,098	13,274,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,477,490	2,395,099
機械装置及び運搬具(純額)	874,172	959,053
土地	2,537,533	2,537,533
リース資産(純額)	76,146	94,787
建設仮勘定	—	6,713
その他(純額)	40,991	37,894
有形固定資産合計	6,006,335	6,031,082
無形固定資産		
のれん	18,215	13,661
その他	115,580	111,429
無形固定資産合計	133,795	125,090
投資その他の資産		
出資金	5,053,776	5,854,721
その他	2,761,472	3,071,087
貸倒引当金	△59,248	△59,189
投資その他の資産合計	7,756,000	8,866,619
固定資産合計	13,896,130	15,022,792
資産合計	26,713,229	28,297,495

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,431,008	3,681,123
電子記録債務	277,649	326,008
短期借入金	1,201,145	1,151,420
未払法人税等	479,933	303,522
賞与引当金	532,665	547,080
その他	789,908	1,084,546
流動負債合計	6,712,309	7,093,701
固定負債		
長期借入金	1,769,655	1,591,245
環境対策引当金	249	26,292
退職給付に係る負債	862,611	868,191
資産除去債務	109,779	110,388
その他	663,884	921,606
固定負債合計	3,406,180	3,517,723
負債合計	10,118,490	10,611,424
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,655,044	4,655,044
資本剰余金	1,635,292	1,635,292
利益剰余金	10,047,047	10,788,487
自己株式	△752,670	△831,392
株主資本合計	15,584,713	16,247,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	565,973	749,761
繰延ヘッジ損益	△1,816	4,623
為替換算調整勘定	407,733	625,157
退職給付に係る調整累計額	△52,196	△51,938
その他の包括利益累計額合計	919,693	1,327,604
新株予約権	47,646	68,396
非支配株主持分	42,687	42,638
純資産合計	16,594,739	17,686,070
負債純資産合計	26,713,229	28,297,495

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	12,618,931	12,483,000
売上原価	10,802,317	10,588,188
売上総利益	1,816,614	1,894,811
販売費及び一般管理費	1,076,055	1,004,255
営業利益	740,559	890,555
営業外収益		
受取利息	4,853	737
受取配当金	30,158	22,435
持分法による投資利益	525,241	581,936
その他	46,280	33,128
営業外収益合計	606,533	638,237
営業外費用		
支払利息	20,009	15,892
その他	12,256	5,739
営業外費用合計	32,265	21,632
経常利益	1,314,827	1,507,160
特別利益		
固定資産売却益	—	249
補助金収入	14,877	—
保険差益	487	—
特別利益合計	15,365	249
特別損失		
固定資産売却損	41	—
固定資産除却損	2	860
固定資産圧縮損	11,727	—
環境対策引当金繰入額	—	26,043
その他	—	469
特別損失合計	11,771	27,373
税金等調整前四半期純利益	1,318,421	1,480,037
法人税、住民税及び事業税	278,366	293,036
法人税等調整額	74,701	163,860
法人税等合計	353,068	456,897
四半期純利益	965,353	1,023,139
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	157	△83
親会社株主に帰属する四半期純利益	965,196	1,023,223

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	965,353	1,023,139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78,206	183,823
繰延ヘッジ損益	14,203	6,440
為替換算調整勘定	△49,789	△4,007
退職給付に係る調整額	13,238	258
持分法適用会社に対する持分相当額	△666,677	221,431
その他の包括利益合計	△610,817	407,946
四半期包括利益	354,535	1,431,086
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	354,325	1,431,134
非支配株主に係る四半期包括利益	209	△48

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,318,421	1,480,037
減価償却費	258,147	271,222
のれん償却額	4,553	4,553
貸倒引当金の増減額(△は減少)	57,658	△17,756
受取利息及び受取配当金	△35,011	△23,172
支払利息	20,009	15,892
為替差損益(△は益)	△1,898	2,924
持分法による投資損益(△は益)	△525,241	△581,936
有形固定資産売却損益(△は益)	41	△249
固定資産圧縮損	11,727	—
売上債権の増減額(△は増加)	△168,722	△189,466
たな卸資産の増減額(△は増加)	△351,401	△8,416
仕入債務の増減額(△は減少)	△83,667	299,680
その他	263,889	67,380
小計	768,505	1,320,691
利息及び配当金の受取額	35,011	23,172
利息の支払額	△20,127	△15,884
法人税等の支払額	△328,134	△451,551
営業活動によるキャッシュ・フロー	455,254	876,427
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△206,816	△209,103
無形固定資産の取得による支出	△3,800	△7,200
有形固定資産の売却による収入	17	250
投資有価証券の取得による支出	△3,920	△2,408
補助金受取による収入	11,721	—
その他	△1,918	15,835
投資活動によるキャッシュ・フロー	△204,717	△202,626
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10,000	△36,000
長期借入れによる収入	600,000	450,000
長期借入金の返済による支出	△728,150	△642,135
自己株式の取得による支出	△112,149	△78,722
配当金の支払額	△220,955	△279,412
その他	△19,177	△15,639
財務活動によるキャッシュ・フロー	△490,433	△601,909
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,018	△805
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△253,914	71,086
現金及び現金同等物の期首残高	3,206,337	4,250,818
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,952,423	4,321,905

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、平成29年6月22日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得することを決議し、自己株式41,500株の取得を行いました。

この結果、自己株式は単元未満株式の買取りと併せ、当第2四半期連結累計期間において78,722千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が831,392千円となっています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	制御機器 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	6,148,123	3,844,182	945,057	10,937,362	1,681,569	12,618,931	—	12,618,931
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	16,103	27,487	98,036	141,627	173,174	314,801	△314,801	—
計	6,164,226	3,871,669	1,043,093	11,078,989	1,854,744	12,933,733	△314,801	12,618,931
セグメント利益	329,710	187,590	140,065	657,366	78,262	735,628	4,930	740,559

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、縫製事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	制御機器 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	6,297,984	3,613,849	745,490	10,657,325	1,825,675	12,483,000	—	12,483,000
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	16,214	14,155	280,716	311,086	256,322	567,409	△567,409	—
計	6,314,199	3,628,005	1,026,206	10,968,411	2,081,997	13,050,409	△567,409	12,483,000
セグメント利益	459,477	242,518	103,251	805,247	87,332	892,580	△2,024	890,555

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、縫製事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを、従来の「染色加工事業」「繊維販売事業」の2事業に「制御機器事業」を追加し、3事業に変更することとしました。

この変更は、従来「その他」に含めていました、電子機器に関連する事業である「制御機器事業」「制御システム事業」「システム事業」の3事業の重要性が高まっていることから、その管理方法について見直しを行い、これらの事業内容が類似していること等を踏まえ、3事業を集約のうえ、「制御機器事業」の名称で報告セグメントに追加するものです。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。